

赤倉沢

1984年7月21日

I



上赤倉沢(仮称)の下降を終えて、手沢ぞいの跡跡をたどり、赤倉沢出合着11:50。遡行を始めたと思うまもなく、左に支流を分ける。

この沢は左岸に跡跡がついており、沢の中に板きれのたぐいがやたらに目につく。「きっと上に何かあるに違いない」と話ながら進む。

沢の方は全く平凡。2mの小滝が出てきただけ。隣の上赤倉沢(仮称)とはおおちがいである。

上流には予想通り広場があって、家が建っていたような跡があり、トロッコのレールもあった。どうやら飯山の跡らしい。

気を取り直して先に進んだが、今度は碎石の山があっただけで、沢も終わりのようである。12:25遡行を打ち切って、小休止の後、下降

に移る。

(記)

【タイム】 赤倉沢出合(11:50)→遡行終了(12:25)

上赤倉沢(仮称・下降)

1984年7月21日

I

下降開始9:50。ぬかるみから小さなガリーが集まり、次第に沢らしくなってゆくさまは、とてもおもしろい。

10:05最初の滝15mナメ状が現われる。ホールド、スタンスとも豊富なので、快適にクライミングダウンする。

このあと、どこを切れ目にしたらよいのか迷ってしまうほど、滝とナメが続く。いずれもクライミングダウン。中津川支流赤倉沢の遡行が早く終了したので、もう1本余分にやろうと選んだ沢が、こうも当たるとうれしくなってしまう。

11:00に10mの滝。少々難しそうだということで、初めてザイルを出し、懸垂下降する。

もう沢も終点近くである。左岸に跡跡が現われる。手沢との合流点を確認し、当初下降予定だった手沢支流赤倉沢

